

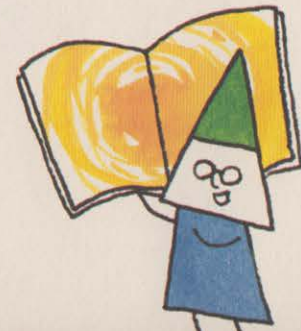


読んで遊んで

えほんの会

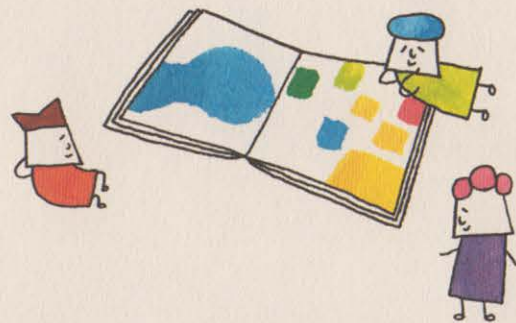


「読んで遊んで えほんの会」は、豊島区のにしすがも創造舎にある親子のためのプレイスペース「ギロンと探偵のいる2年1組」で開催している、絵本を介したあそびの会です。俳優・ダンサー・音楽家などさまざまなジャンルのアーティストによるユニット「えぼんず」が、参加者のみなさんと一緒に、のんびり・きままに楽しい時間をつくっています。「読む」だけではなく、楽器やおもちゃ、「音あそび」や「体あそび」を楽しく取り入れた親子参加型で、絵本の世界を広げていきます。





この会では、参加者の自由な発想を引き出し、受け止めていくことを大事にしています。絵本という豊かな発想の宝庫を使って、子ども、保護者、アーティストが交流しながら、自分を表現することの楽しさ、場を共有することの楽しさを体感していきます。



開催日 ▶ ほぼ毎月1回、不定期開催
(土曜日or日曜日)

午前の回 ▶ 11:00～12:00

午後の回 ▶ 14:00～15:00

対象 ▶ 親子・家族

午前の回は年少くらいまでの子どもと保護者の方、午後の回は年少より上の子どもと保護者の方向けの内容を予定しています。障がいのあるお子さんや、おじいちゃんおばあちゃんとお孫さんの参加も歓迎です!

場所 ▶ にしすがも創造舎2階
「ギロンと探偵のいる2年1組」

定員: 各回15組程度を予定
参加費無料 | 申込不要



▶「えほんの会」をのぞいてみよう



こんにちは!
これから
「えほんの会」が
始まるよ!



ぐにやぐにや〜



えほんで
ポーズ!
こんな動き、どう?



いろんな音が生まれるよ



おとなも子どもも
じっくり聞きいる
静かな時間…



ワゴンカフェも
あるよ

楽器もつけて
えほんに
音をつけてみよう



バケツやオモチャも
楽器にしちゃえ!



今日はこれで
おしまい!

でももうしばらく
自由に遊べるよ



▶ えほんずってどんな人？

「読んで遊んで えほんの会」で進行役をしているアーティストのことを「えほんず」と呼んでいます。

「えほんの会」から生まれたオリジナルのユニットです。

主なメンバーは俳優や音楽家などのアーティスト。そのほか、ダンサー、美術家、演出家など…

その中から毎回2~3人がやってきます。



えほんず参加メンバー(2011年度現在・50音順)

赤羽さや香[俳優]/石田大介[ギタリスト・幸+福、和氣音メンバー]/内野早苗[旅好き会社員]/菊地千里[俳優・ワウフラミンゴ所属]/小玉陽子[役者・身体表現]

渋谷橙[俳優・詩人・chon-muop所属]/たけうちみず糸[俳優・chon-muop所属]/田中晶[俳優]/弦弓真理江[ワークショップデザイナー]

▶ えほんずにインタビュー



左:赤羽さや香
「読んで遊んでえほんの会」
設立メンバー

右:たけうちみず糸
2007年3月よりえほんず
メンバー

——「えほんの会」をはじめたきっかけは？

赤羽(以降、赤)▶私は学生のときから演劇をやっていて、その楽しさを劇場に足を運べない人たちにも伝えたいと思っていました。私にとって「演劇=なんでもあり」。このスペースには絵本がたくさんあるので、絵本を通して演劇の楽しさを伝えたいと思っています。声を使ったり身体を使ったり、出来ることをいろいろやってみたい。始めた当時は絵本にあまり詳しいわけではなかったのですが、やっていくうちに、こんなにいろんな絵本があるんだと知って楽しんでいます。

——「えほんの会」をやっていて面白いと思うことは？

たけうち(以降、た)▶子どもたちって、全身全霊で生きていてすごく面白いです。私は、いろんな表現方法で子どもとやりとりするのですが、大人と子どもという関係ではなく「生き物同士」として子どもと向き合っています。大人になると物事に対して「この後はこういう展開になるのかな」とある程度予測するものですが、子どもたちは出会う瞬間瞬間が常に100%新鮮な状態。出会うまで次に何が起こるかわからないし、呼吸するだけで新鮮というか。

赤▶私は、さっきまで泣いていた乳児が「えほんの会」が始まると泣き止んで、私たちの飛んだり跳ねたりする動きをじーっと見てくれているときに、嬉しくなっちゃう。

た▶まだ会話もできないくらい小さな子どもとの間でも、やりとりの中で「あー、そうだね」って共感が生まれる瞬間があります。どの瞬間も初めてなのに、すごく懐かしいような瞬間。シナ



ブスがパチッとつながる瞬間というか。そういう不思議な感じになるんです。でもまた次もつながれるかといったら全くだめだったりして。再現性がないのが残念でもあるけど、言葉で再現できない部分を今共有できている、すごく尊い瞬間というのがたくさんあって面白いです。

赤 ▶ その言葉にならない面白さをみんなと味わいたいです。

——どんな人がえぼんずになっているの？

赤 ▶ いわゆるメジャーなアーティストでなくても、「こんな面白い人があるよ」ということも伝えていきたいので、即興を楽しめる方や、いろんな価値観を楽しめる、持ち込める方に、えぼんずに参加してもらいたいな、と思っています。



た ▶ 自分の中にあるもの(得意分野)を使って、同じ空間にいる人たちと共鳴し、反応し合う、それを楽しめる方がいいですね。

——えぼんずとして、大事にしていることってなに？

赤 ▶ 参加者と対等であることかな。

た ▶ 子どもはいろんな想像をたくさんして

いるけど、想像が身体とつながる瞬間って、実は身近にどれだけあるんだろう。おままごととかお遊戯の経験はあっても、想像の中に全身を置いてみるという経験が私自身はあまりなかった気がします。この会では、絵本の中のはちゃめちゃんな世界が身体(五感)とつながる瞬間に出会えるかもしれない。絵本を五感につなぐことを私たちが全力でやっていれば、子どもたちもそれを体感してくれるかもしれない、と思ってやっています。

——参加者の方へ向けてメッセージ

赤 ▶ この会では、ずっと座ってなくてもいい、耳を向けてなくてもいいんです。大人の方も、子どもに負けなくらい思いきり楽しんでもらって、大人も子どももない「人」同士になれたらいいな。あと、どう想像するか・どう表現するかの選択肢って見方を



変えたらいっぱいあるんだ、ということをちょっとでも伝えられたら嬉しいです。

た ▶ それで、家でも絵本の読み方がちょっと変わったりとか。でも、「あー楽しかった」ってだけでもいいんです。子どももお母さんもほぐれて元気になってくれたらいいですね。

赤羽さや香(あかはねさやか)[俳優]

2000年、加藤直プロデュース「三文オペラ」に出演。神奈川芸術財団ワークショップ集団「ASK」に参加。演出家・加藤直、振付家・伊藤多恵(「かもねぎショット」)、役者/歌手・大石哲史(「オペラシアターこんやく座」)などの講師と、音楽やダンスと融合した演劇を学ぶ。パフォーマンス集団「メガロシアター」や、劇団「chon-muop」の、東京都内のギャラリーや劇場での公演に出演。カフェとかで音楽家とライブもしてみたりしています。

たけうちみずゑ[俳優・chon-muop所属]

2001年、ニナガワカンパニー・ダッシュ入団をきっかけに演劇の世界へ。2006年、櫻井拓見が主宰する劇団chon-muop(チョンモップ)の旗揚げ作品に出演以降、所属俳優。カフェ公演を主とした、劇場空間にとられない作品に出演し続けている。また、矢野靖人(shelf)、中馬芳子、黒谷都、ペーター・ゲスナー演出作品など、外部出演も多数。「読んで遊んでえぼんの会」には、chon-muopで共演した赤羽さや香の誘いにより2007年からえぼんずとして参加。

▶ 参加者の声(アンケートより)

- えぼんずさんの、見事な偶然のアンサンブルを毎回楽しんでいます! [2歳と11歳の母]
- 身体と心を開放するためのステキな方法だなあ～と思いました。家でもやってみよう～。 [6歳の母]
- 子どもに付き合ってきたつもりが、いつの間にか、自分が楽しんでいます。 [4歳の父]
- 1歳の息子でも、真剣に見つめて、何かを感じているようでした。 [1歳の母]
- こんな自由な雰囲気の中でたくさん笑いながら子どもを育てていきたいな。また来ます。 [1歳の母]

「読んで遊んでえぼんの会」は、たまに出張しています。

今までこんな場所でもやりました。

- 国立市 幼児教室風の子/内野早苗・小玉陽子・湯治直樹(2010年)
- 国立市 ブランターコテージ/内野早苗・小玉陽子・湯治直樹(2010年)
- 杉並区 西荻窪英会話カフェ/内野早苗・小玉陽子・湯治直樹(2010年)
- 中野区 旧桃丘小学校/赤羽さや香 with 即興楽団UDjel(2011年)
- 渋谷区 代々木公園/赤羽さや香 with エコースティクス(2011年)



「ギロンと探偵のいる2年1組」とは？

にしすがも創造舎の2階にある遊びのスペースです。子育て中の親子・家族と一緒に楽しめるアーティスト・ワークショップや、えほんの会、ライブ・コンサートなどを行っています。さまざまなプログラムを通して、子育てをするお父さん・お母さん同士の新しい出会いが生まれることも願っています。



ギロンと探偵のいる
2年1組

- ・ワークショップを開催する土曜日、日曜日のみオープンします
- ・自由遊びの開放時間(ワークショップの前後)は、絵本やおもちゃで自由に遊べます。

◎詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<http://www.children-art.net/action/guillon/>

*このスペースの名前およびコンセプトは、2005年のオープン当初にパフォーマンスグループ♡(通称トリのマーク)がつけました。

お問合せ:NPO法人 芸術家と子どもたち
〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨4-9-1 にしすがも創造舎(旧朝日中学校)
TEL.03-5961-5737 FAX.03-5961-5738
Eメール mail@children-art.net
<http://www.children-art.net>



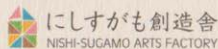
「創造性」「多様性」「関係づくり」——

現代アーティストと子どもの幸福な出会いがもたらす新しい価値や変化を、もっと多くの学びの場に。私たちは、学校や地域コミュニティの中で、出会いの場をつくる活動をしています。



【アクセス】

- ・都営三田線—西巢鴨駅 A4出口(エレベーター)より徒歩1分
- ・都電荒川線—新庚申塚駅より 徒歩2分
- *駐車場はありません。お車でのご来場はご遠慮ください。



発行者:特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち デザイン:大庭佑子 イラスト:さかたともみ 写真(p1):八百板チカ
印刷・製本:大日本印刷株式会社 発行:2011年8月